

各委員からの事項及びその趣旨

【天野委員より】

子育て支援事業も動き出し、10年20年後に思いを馳せながら見守っています。子育てし易いということは、全ての人々にとっても生き易い場所であるという観点から、高齢者の人材活用を積極的に推し進めることを、お願いしたいと思います。

元気な高齢者の社会参加を。よく耳にするのが、働きたい・社会の役に立ちたいという言葉です。孤独な子育てをしている方と閉じこもりがちな高齢者の交流を、子育て支援に活かしてみれば。社会の役に立っていることを実感することが、生き甲斐となり心身を健康に豊かにすると思います。

子育て支援に使う費用は、先行き厳しいものがあります。若い人たちにしわ寄せがきくと来ます。働く人々の後押しが出来ますよう、社会のあらゆる場所で必要とされる元気な高齢者のボランティアの育成・組織づくりを、早急に検討願います。

人材確保が難しい保育所に、研修を終えた子育て経験者を派遣して保育士さんの仕事の軽減を図る等、如何でしょうか。